



2023春季生活闘争勝利！総決起集会

今こそ Change, Challenge, Movement !

～社会のすべての仕組みにジェンダーの視点を～



「3.8 国際女性デー」アピール



「3.8国際女性デー」のアピール

連合山形は3月4日（土）、「2023春季生活闘争勝利！総決起集会」を山形市民会館で開催しました。構成組織の組合員500人が結集し、物価高を上回る月例賃金の引上げに向けて、最後まで粘り強く交渉していくことを誓い合いました。

「3.8国際女性デーのアピール」では、女性委員会の岩城副委員長が集会アピールを行い、会場のみなさんには、「3.8国際女性デー」のチラシを掲げていただき、満場一致で採択されました。

「3.8国際女性デー」アピール

3.8国際女性デーは、1857年、ニューヨークの被服工場で多くの女性が亡くなった火災事故をきっかけとして、3月8日に行われた低賃金・長時間労働への抗議行動が起源と言われています。

そうした原点に思いを馳せながら、今日、私たちは3年ぶりに対面で集い、「2023春季生活闘争勝利総決起集会」において、ジェンダー平等・多様性推進の取り組みをさらに加速させていく決意をあらためて確認していきたいと思えます。

今年の3.8国際女性デーのテーマは“今こそChange, Challenge, Movement！～社会のすべての仕組みにジェンダーの視点を～”です。

世界的には、意思決定過程に女性がいる光景が決して珍しいものではなく、むしろ、意思決定過程に女性がいらない光景の方が、奇異の目で見られる社会になってきました。

一方、日本ではそんな当たり前の光景がまだ多くの場所で見られないばかりか、ジェンダー主流化や、多様性を認め合う流れに逆行するかのような差別、人権侵害が後を絶ちません。

日本は今こそ、ジェンダー主流化を加速させ、遅れを取り戻す必要があります。性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、だれもが等しく力を発揮できる環境が整備され、すべての人が互いに支え合える社会を一刻も早く実現するために、私たち労働組合も一層の努力が求められます。

連合山形は、2023春季生活闘争を通じて、男女別の賃金実態の把握と格差の是正、あらゆるハラスメントの根絶、差別の禁止に取り組みます。また、育児や介護と仕事の両立、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備を進めます。

本集会にお集まりいただいた皆様一人ひとりの行動で、すべての人たちの人権を尊重し、平等に、安心して働くことができる社会をめざしましょう。

2023年3月4日

連合山形2023春季生活闘争勝利総決起集会 「3.8国際女性デー」アピール



岩城副委員長のアピール



「3.8国際女性デー」採択



のぼり旗アピール



のぼり旗アピール



「3.8国際女性デー」

連合山形女性委員会は3月8日に先駆け「2023春季生活闘争勝利！総決起集会」に合わせて、山交ビル前で約3年ぶりに街頭での「リレートーク」と女性のシンボルである「バラの花」の配布を行いました。リレートークでは、「3.8国際女性デー」の周知と男女差別の賃金実態・あらゆるハラスメントの根絶を訴えました。

「バラの花」の配布には、構成組織から11名の参加者が集まり、市民の方に笑顔で配布をし「きれいなお花をありがとう、嬉しいです」と声をかけていただきました。



バラの配布に集まってくださった皆さん



箱に詰めて配布



「3.8国際女性デー」のチラシ入りのバラ



連合山形のHP・Facebookも
チェックしてね☆

